

1 ルーシーとコリン

器量よしの娘たちで知られたリンスターでも
ルーシーが一番の華^{はな}だった
リフィー川の澄みきった流れも いままで
これほどに美しい顔を映したことはない

しかしついに 不幸な恋に身を灼^やく想^{おも}いが 5
薔薇色^{かんばせ}の顔艶^{そこな}を損^{くれない}い
珊瑚色した唇と うす紅色の頬と
輝く青い目を 損うときがやってきた

ああ 打ちつける雨のなかで
蒼^{あお}ざめゆく百合の花の そのように 10
だんだんとルーシーはやつれ 萎^{しお}れて行って
いよいよ 生命^{いのち}のおわりが近づいた

お人好しの娘たちよ ルーシーを戒^{いまし}めとして
口上手な若者らには 気をつけるのだ
うそつきの若者たちよ 裏切^{ちぎ}られた契りにはつきものの 15
当然の復讐に気をつけるがよい

三度 しんしんたる真夜中に
鐘の鳴るのが聞こえ
三度 ルーシーの窓^{かん}辺で甲高く
カラスが鳴いて羽ばたいた 20

捨てられたルーシーにはよくわかっていた
それは 厳かに死を告げる鐘^ねの音だった
ルーシーは 泣き伏す村の娘らに固^{かた}まれて
臨終^{いまわ}の言葉に こう言った

「みんなには聞こえない声^{こゑ}がして 25
さあお逝^ゆき と言っている

みんなには見えない手が あたしにむかって
おいでおいで をしているの

偽りの心と 裏切られた契りの^{ため}所為に
あたしは 花も咲かずに死んでゆく 30
自業自得なのかしら 彼のお嫁さんは
あたしより三倍も金持だったのだから

ああコリン あの人の愛の契りを与えないで
契りは あたしへだけのものよ
お人好しの花嫁さん コリンの接吻を受けないで 35
彼は あなただけのものではないの

^{あした}明朝教会で式を挙げるため
二人とも もうそわそわと身支度ね
でもきっと お人好しの花嫁さん きっと うそつきコリン
ルーシーもそこにゆくわよ 40

さあ みんな 死体を運んで 運んでちょうだい
あの幸せな花嫁さんに逢いにゆくの
あの人は 鮮やかな婚礼衣装を身にまとい
あたしは 経帷子^{きょうかたびら}に身をつつみ

ルーシーは語り終え 息をひきとり 死体が運ばれた 45
幸せな花嫁に逢いにゆくため
コリンは 鮮やかな婚礼衣装を身にまとい
ルーシーは 経帷子に身をつつみ

さてもそのときの うそつきコリンの驚きと
華燭^{かしよく}の典の成りゆきは— 50
花嫁の付添人は 死んだルーシーをとり囲み
村人は みんな涙にくれた

困惑 耻辱^{ちじよく} 後悔 絶望が
いちどきに コリンの胸を張り裂いて
死の玉汗^{たまあせ}を額^{ひたい}ににじませ 55
コリンはよろめき うめき 倒れた

恋敵の死体のまえに夫が倒れ
息ひきとった姿を見ては
誇らかな花嫁の（もう花嫁ではなくなって）
顔は蒼ざめ 血の気は失せた 60

それから先は一 ルーシーの新しい墓に
わなわな震える若者らに運ばれて
おなじ草葉の蔭で おなじ土をかぶって
いつの世までも コリンはルーシーと一緒に眠っている

よくこの墓に まじめな村の若者と 65
契りを結んだ村の娘の姿が見える
色鮮やかな花輪と 誓いの恋結びで
彼らは 草繁る恋塚こいづかを飾ってゆく

しかし うそつきの若者は誰であろうと
この神聖な場所には近寄らぬこと 70
コリンの恐ろしい運命を忘れるな
そして 墓場で彼と出逢わぬことだ

（山中光義訳）